

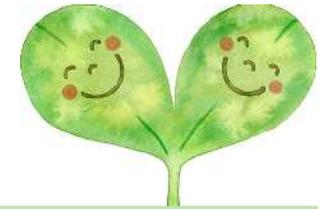
第2回

沼田市教育機関の適正配置及び設置に関する審議会

未来を担う子供たちのため、より良い学習環境を！



令和6年6月19日(水) 午前10時～



1 振り返り

前回の審議会で多く出された意見（抜粋）

- (1) 学校によって差はあるが、児童生徒数の減少は切実な問題である。
- (2) 学校など集団の中において、切磋琢磨をして社会性を育てる必要はある。
- (3) 少人数のメリットとデメリットを踏まえ、よりよい学校運営を検討する。
- (4) 高校進学などを見据えれば、中学校ではある程度の生徒数がいた方がよい。
- (5) 地域との関わりは大切である。（特に小学校）
- (6) 通学時など、安全安心な環境を検討すべきである。
- (7) 小学校、中学校、高校と徐々に人数を増やすことはどうか。
- (8) 多様性の社会において、多くの人、多くの意見に触れる環境は必要である。
- (9) 不安に感じる子供もいるが、子供の適応能力は素晴らしい！

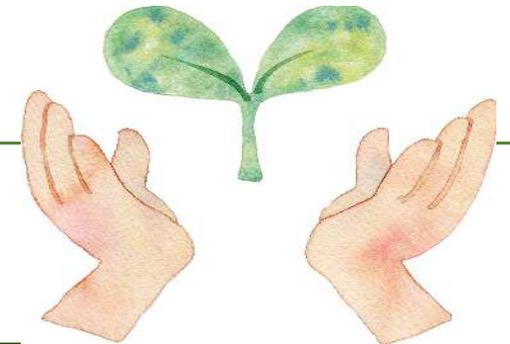
このほかにも、たくさんのご意見をいただきました。

委員の皆様からのご意見を基に、答申内容を検討していきます。

委員の皆様の意見から答申書を作成（答申書イメージ案）

重点目標（例えば・・・）

- ①多くの人々と触れ合う機会をつくり、多様な社会に適応できる教育環境を守る。
- ②学校が小規模であっても、そのメリットは最大に、デメリットは最小にする工夫をする。
- ③子供を守る安全、安心な学習環境を整備する。



※重点目標のほかにも・・・
基本的な考え方、基本的な方針などにまとめることも可能です。

具体的事項（適正規模）

【小学校】

- ・1学年の学級数は、概ね○学級以上が望ましい。
- ・1学年の児童数は、概ね○名以上が望ましい。

【中学校】

- ・1学年の学級数は、○学級～○学級が望ましい。
- ・1学年の生徒数は、概ね○名以上が望ましい。

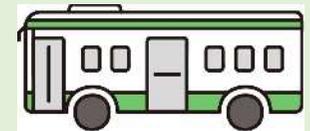
【上記の基準を定めた理由等】

- ・人間関係により社会性を身に付ける必要がある。
- ・小学生、中学生と段階的に集団に適応できるようにすることが望ましい。

具体的事項（適正配置）

【小学校】・【中学校】でそれぞれ

- ・スクールバスを運用しない場合
通学距離は、概ね○k m以内が望ましい。
- ・スクールバス等を運用する場合
通学距離は、概ね○k m以内が望ましい。
- ・通学時間は○○以内など



【上記の基準を定めた理由等】

- ・ただし、通学路等の状況により柔軟に対応する。

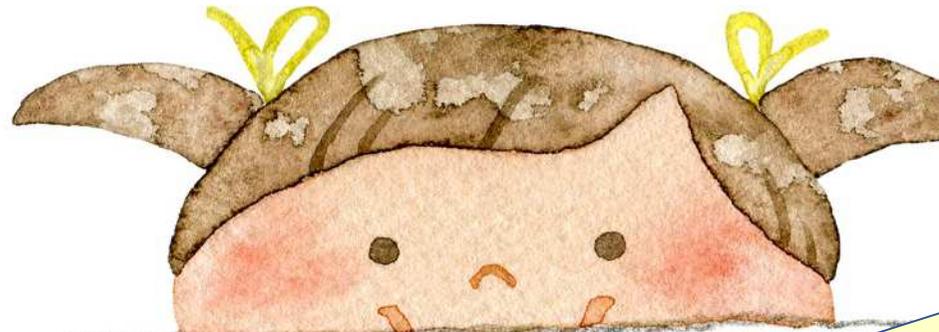
委員の皆様の意見から答申書を作成（答申書イメージ案）

答申に当たり配慮すべき**具体的事項**

- ・ 地域住民や、学区外の生徒との触れ合いを強化するなど、**交流促進**を図る。
- ・ 今後さらに進む少子化に対応できるよう、**地域の特色**を生かした少人数教育体制等の構築も視野に検討を進めること。
（モデル校の導入等、特色のある少人数教育など）
- ・ **個々の児童、生徒に配慮した教育**を継続し、単に施設の統合等を図ることのないようにする。
- ・ 他市町村の取組を参考としながら、**小中一貫校など工夫した体制**を検討する。
- ・ スクールバスの配置については、**児童・生徒の安心安全を守るため**、柔軟に対応する。



【参考】学校再編に関するアンケート結果の学校組織での意見交換内容



平成22年度 → 令和11年度（予測）

児童数	400名	237名
学級数	11学級	9学級

児童数は、**20年間で約60%に減少**見込みです。

沼田小学校の学校組織の話合いでは

- ・課題はあるが、現状で良いのではないか。
- ・全学年で2クラスが維持できるなら、現状で良いのではないか。
- ・子供にとっては、全校の人数もクラス人数も大切だ。
- ・やっぱり、学校再編は必要だと思う。

平成22年度 → 令和11年度（予測）

児童数	60名	18名
学級数	5学級	3学級

児童数は、**20年間で約30%に減少**見込みです。

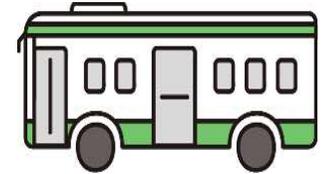
多那小中学校の学校組織の話合いでは

- ・人間関係を築く上で、人数は大切
- ・少人数でトラブルがあると、それを抱えて学校生活を送ることにもなるかも・・・
- ・保護者はみんな、統廃合に賛成である。
- ・数年後には入学者0人になることが見込まれるため、早急に統廃合を検討してほしい。



【参考】スクールバスの利用状況等

スクールバスの利用状況等



沼田市教育委員会スクールバス運行要綱より

バスの名称	利用する小学校	利用する中学校
池田小中学校スクールバス	池田小学校	池田中学校
川田小学校スクールバス	川田小学校	
白沢小学校スクールバス	白沢小学校	
利根小中学校スクールバス	利根小学校	利根中学校
多那小中学校スクールバス	多那小学校	多那中学校

※沼田市では、上記の小中学校に通学し、かつ、交通機関の利用が不便な児童及び生徒がスクールバスを利用
できることとしている。

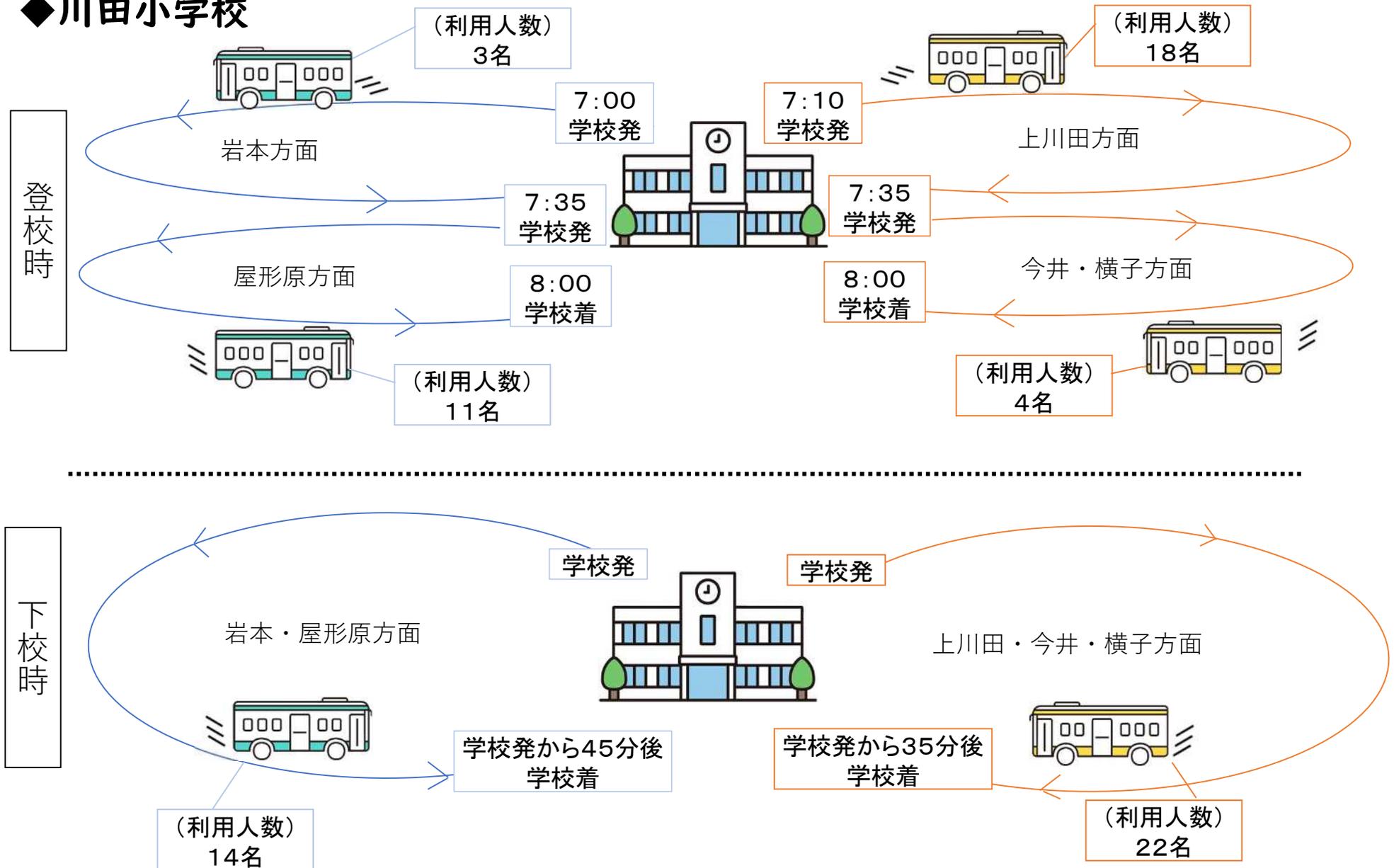
※自転車通学については、各学校において基準があります。

概ね、学校再編などの際に
スクールバスの見直しを
行っている経過です。



スクールバスの利用状況等 例:1

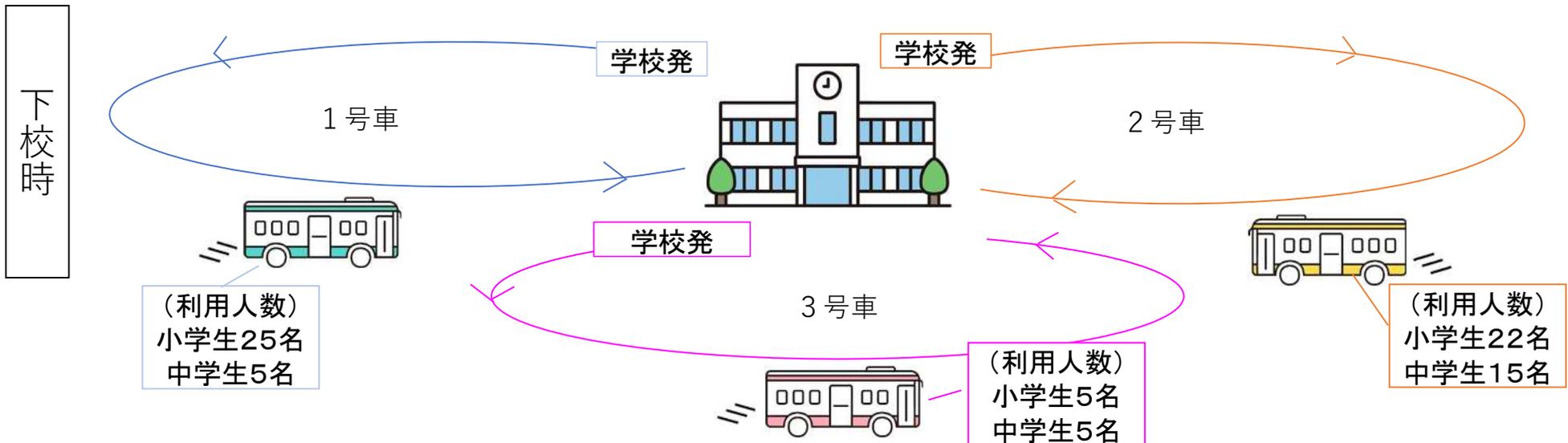
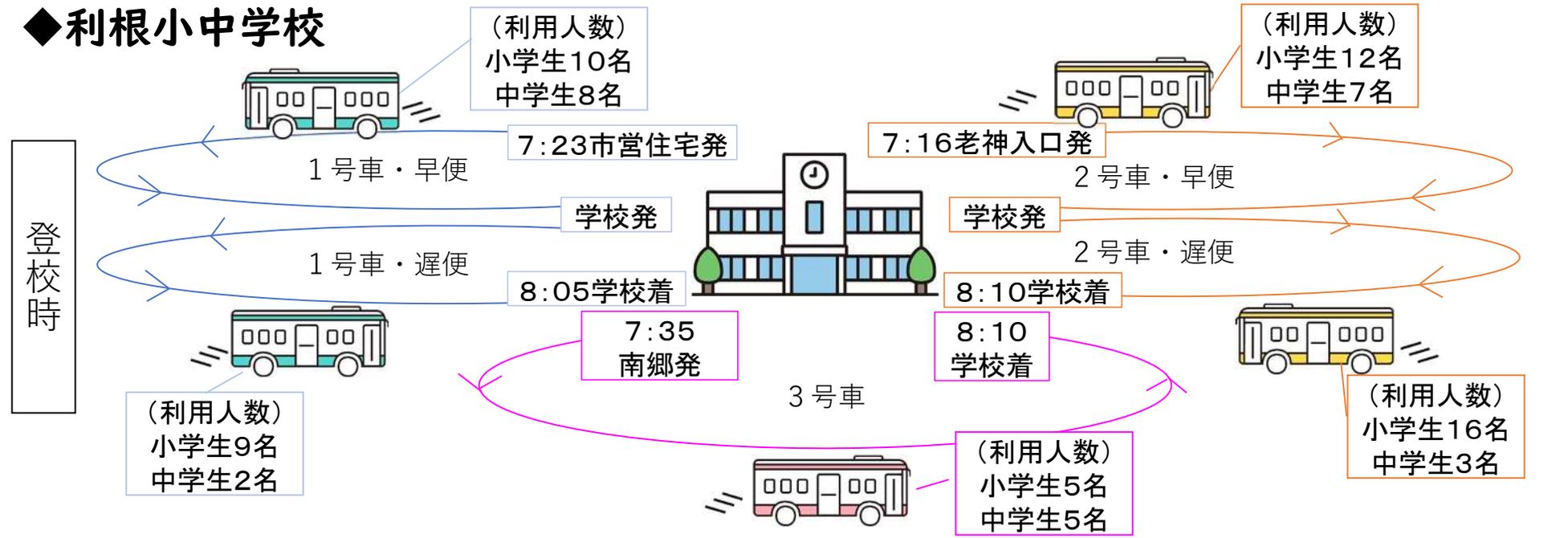
◆川田小学校



※児童の下校時間に合わせて1日に2回稼働、利用人数は令和6年度見込人数

スクールバスの利用状況等 例:2

◆利根小中学校



※児童生徒の下校時間に合わせて1日に複数回稼働、利用人数は令和6年度予定人数

他自治体の取り組み(R6年5月視察)

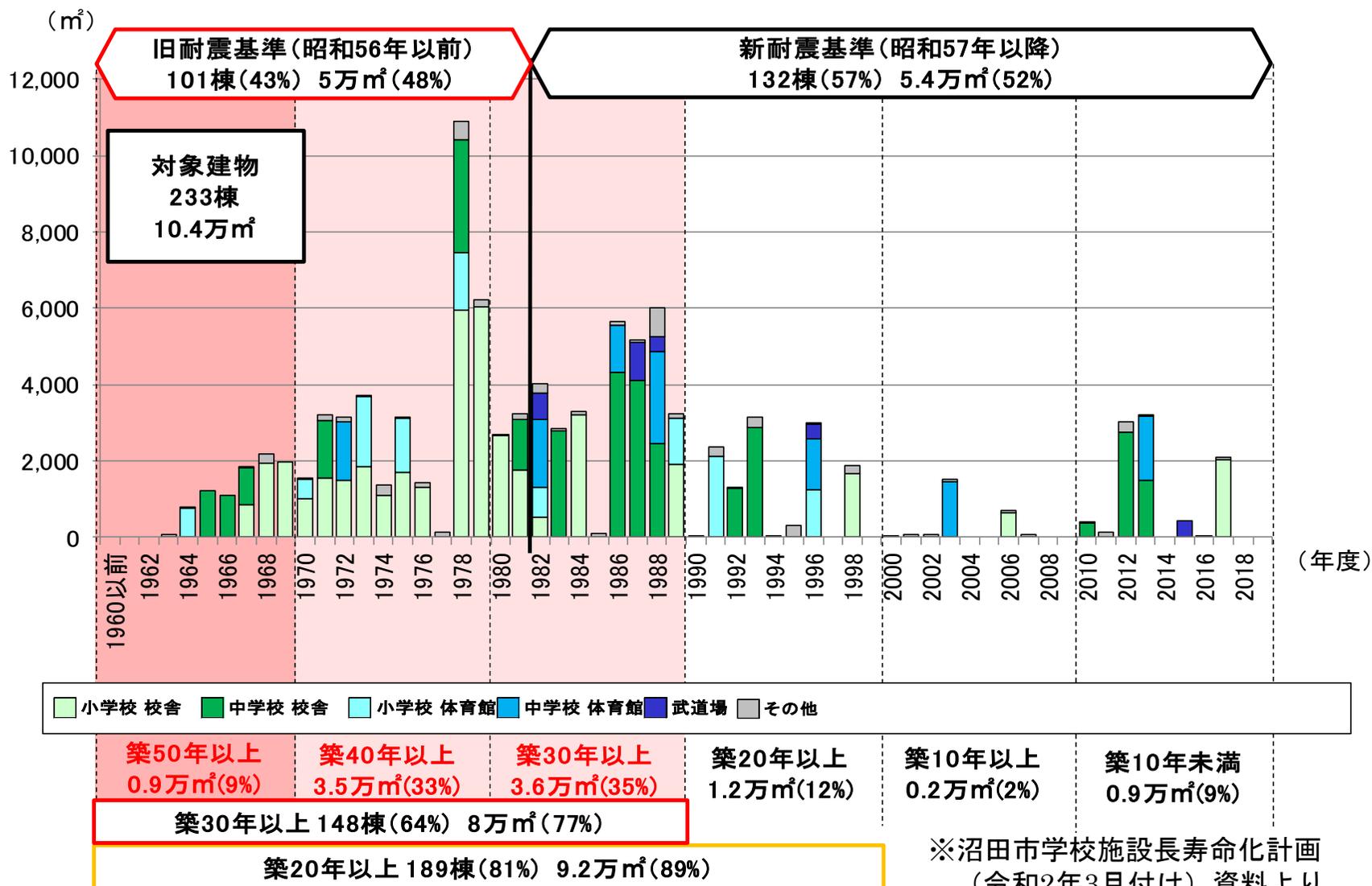
群馬県下仁田町(人口:6,236人 公立小中学校:各1校)

- ・平成24年、4校の小学校を1校に統廃合したことに伴い、路線バス「しもにたバス」を事業者委託運行から市町村運営有償運送に変更。
- ・朝と夕方の時間帯は、一部「スクールバス」と路線バスを混乗で運行。
通学の時間帯(6:30~8:30、15:00~18:30)は、児童生徒が優先的に乗車できる。
- ・均一運賃(前乗り先払い)
大人(中学生以上) - 200円、小人(小学生・小学校就学前) - 無料



2. 学校施設の状況（建築年度別の整備状況）

- 1990年までに建築された築30年以上の建物が8.0万㎡で全体の約77%を占めている。
- 建築後50年を過ぎている建物が0.9万㎡（9%）あります。
- 更新時期を迎える築40年以上経過している建物が3.5万㎡（33%）あります。

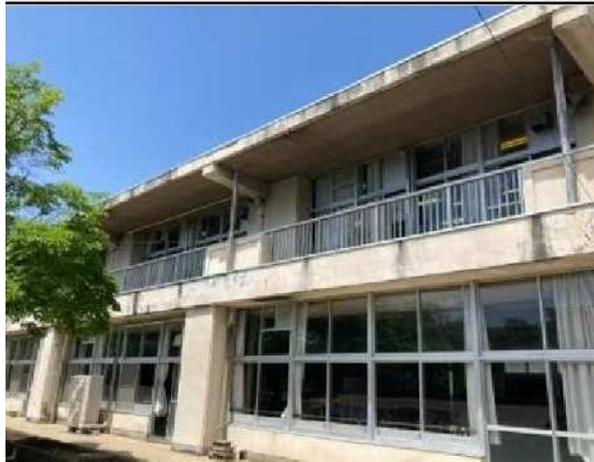


屋上防水



屋上防水の劣化が進むと、雨漏りが発生します。雨漏りは、カビの発生、電気設備の漏電、天井材の剥落を引き起こすだけでなく、屋根・床・柱・梁・壁などの構造体の劣化を急激に進めてしまいます。構造体は、他の部分と異なり、一部だけ取り替えることは困難であるため、構造体の劣化は建物の寿命を縮めてしまうこととなります。

外壁



外壁の劣化が進みひび割れが生じると、外壁や柱などの構造体に雨が入り込んでしまいます。その結果、コンクリート内部の鉄筋がさび始め、そのさびが進行するとさびの膨張によりコンクリートやモルタルを破壊する「爆裂」現象を引き起こします。爆裂はコンクリートやモルタル片を落下させることもあり危険です。

内部仕上げ



床材の剥がれ、シートの劣化によるはがれ、浮きが発生するなど、床材の劣化が全体的に進んでいます。部分的な修繕ではなく、全面改修が必要です。



内壁のモルタル仕上げ材、トイレの床タイルにひび割れが発生しています。

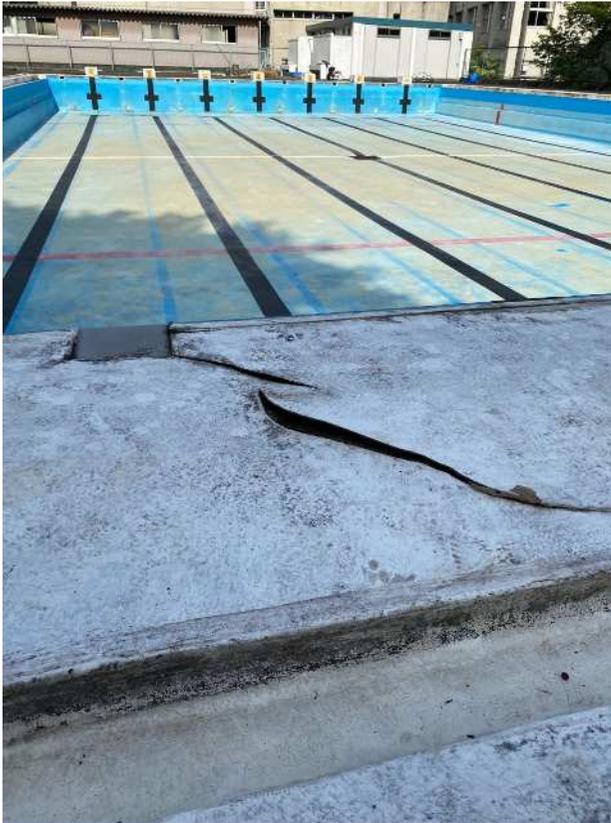
電気・機械設備



一般照明用の蛍光灯は、2027年末までに製造および輸出入が禁止されることから教室棟の蛍光灯をLED照明への更新を早急に進めていかなければなりません。

また、音響設備、暖房設備、消火設備、給排水設備等、更新時期の目安を超えているものが多くあります。

附属施設(プール施設)



プールサイドの劣化によるシートのめくれや、ひび割れなどにより、子供達がけがをする危険性があります。また、古くなったプール水槽では、クラック等から漏水し水位が低下してしまいます。

プールろ過機設備は、プールの水をろ過し、塩素を使って減菌する設備ですが、設備の故障は、水質の悪化を早め、水の入替え回数が増えることにより、水道代が増加します。

附属施設(遊具・外構工作物)



子供達が遊ぶ遊具は、定期的な点検を実施していますが、鉄部の腐食やロープの破断など危険な箇所があります。

外構工作物の劣化は、通行する人がケガをする可能性があり、劣化が進むとフェンス等倒壊する危険もあります。

附属施設(基幹設備・その他)



高圧受電設備



少量危険物貯蔵庫



電気配管ボックス発錆・腐食



コンクリート亀裂



樹木の繁茂



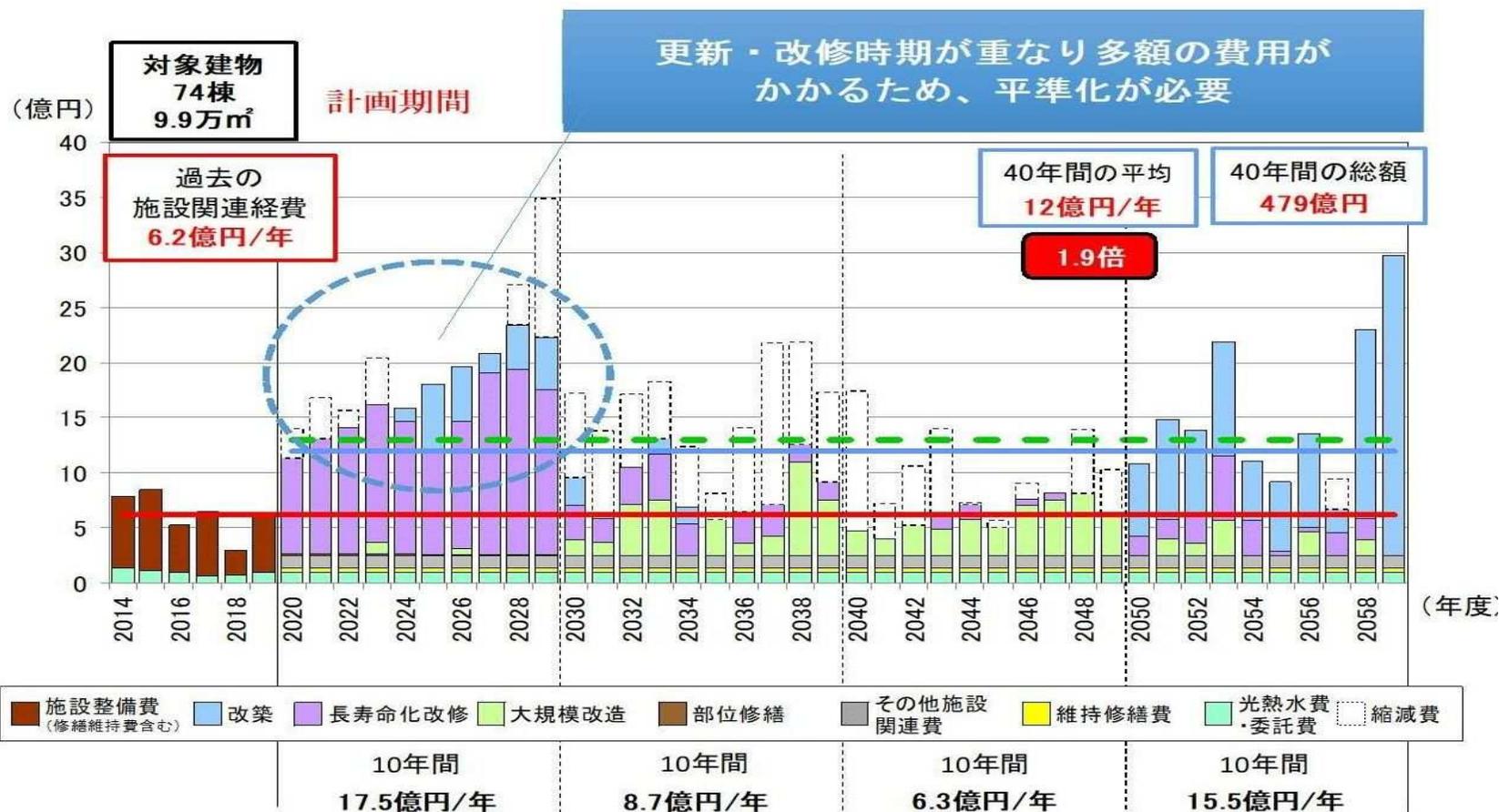
グラウンド排水不良

設備の不具合や故障は、学校の安全・衛生・学習環境上影響が大きく、計画的な更新が必要のため、予防保全改修を進めていく必要があります。

また、樹木の繁茂による周辺住環境への影響やグラウンドは年月を重ねるごとに地表面が堅く固まり水はけが悪くなるなど建物以外の適正管理も必要です。

2・学校施設の状況（施設整備コストの見通し）

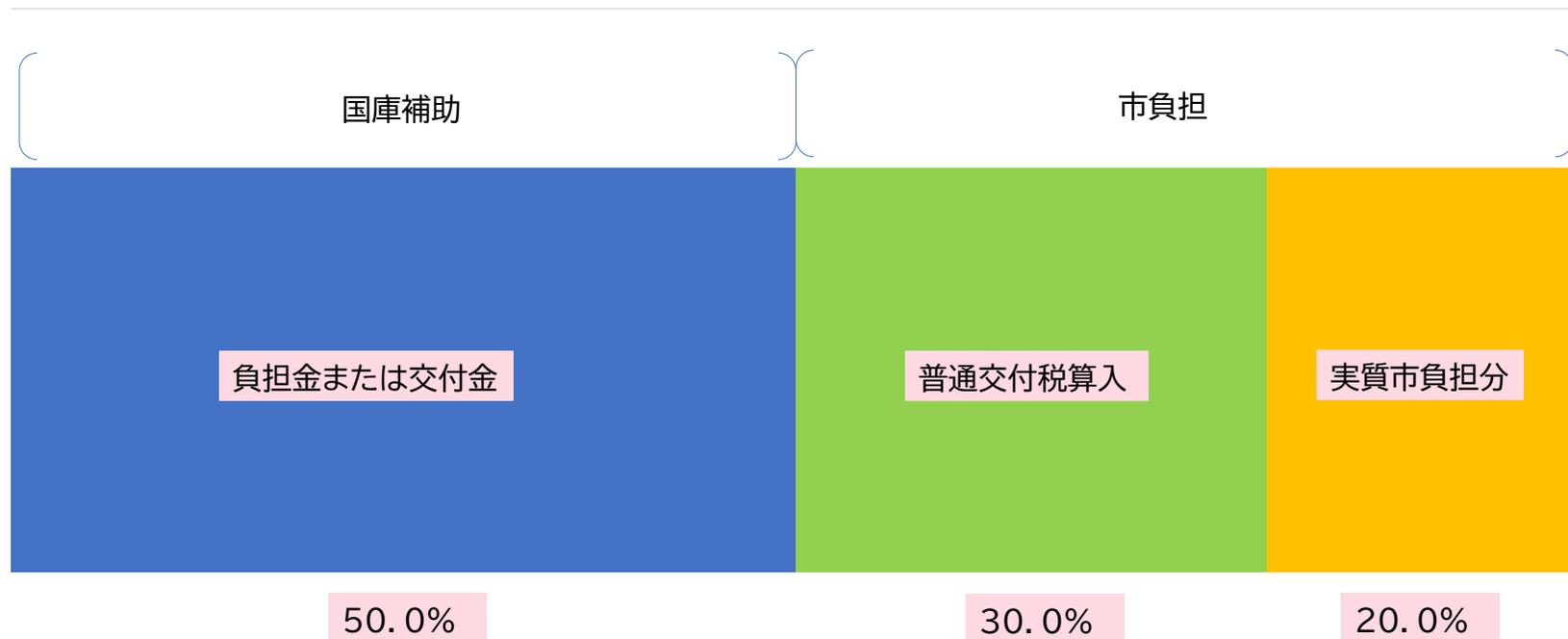
- 施設関連経費の過去（H26～R1）平均は6.2億円／年である。
- R2から40年間で総額479億円（12億円／年）かかる見通しとなっている。
- 最近の物価高騰は考慮されていない。



※沼田市学校施設長寿命化計画
（令和2年3月付け）資料より

2. 学校施設の状況（施設整備に係る国庫補助金）

- 小中学校等の統合校舎・屋内運動場を新增築する場合
- 学校統合に伴う既存施設を改修する場合（長寿命化改修）



※維持管理に関する補助はなし

沼田市に合った「適正規模」・「適正配置」 魅力を生かした「学びのかたち」

次回審議会では、皆さんのご意見から
教育委員会への答申書を作成していきます。



答申書内容は、沼田市教育委員会の基本方針に反映してまいります。

沼田市に合った「適正規模」・「適正配置」 魅力を生かした「学びのかたち」

皆さんからのご意見をお願いします。



例えば

- ・前回の審議会での意見で、「〇〇」がとても大切だ。
- ・答申書のイメージは、〇〇の方が良い。
- ・スクールバスは、〇〇で活用することも検討してはどうか。
- ・学校の再編を行う時には、施設は〇〇した方が良い。
- ・次回は、〇〇についても話し合った方が良い。